

オンライン授業への移行から見えてきた教育技術の課題  
**大学生の学びの基本「読む技術」を鍛える方法**  
— あらましメソッドHybrid —

**牧 恵子**（愛知教育大学 非常勤講師）

**ksdialog@gmail.com**



2013愛知東邦大学 学修支援センター初年次演習科目  
2018岡崎女子大学1年「文章表現法」  
2014-愛知教育大学「初年次演習」「国語科教育」





《あらしめソッド》



# 大学教育の根底にあるはずの「読む」ことの「時間」・「場所」・「共有」の確保

欧米の大学	日本の大学
Lecture	講義
Seminar	ゼミ
<b>Assignment</b>	<b>読む</b> ➡「あらしめソッドHybrid」の活用  ・レポート・プレゼン
Exams	試験



# 1. 「あらしメソッド」とは

## 1.1 大学1年生が「新書」さえ読まない背景（アサイメントが成立しない現状）

### 高校の先生 の声

- カリキュラム上、本を読書させる時間がない
- 「新書」を読む力がない
- 「読解指導」と「読書指導」は違う

### 大学1年生 の声

- 「新書」というジャンルは読んだことがない
- 小学校時代から使ってきた「1ページ目から順に読む」という「通読」しか知らない

### 大学2年生 以上の声

- 読みたいと思っはいるけれど忙しい
- 集中して読む練習ができていない
- 科目と読むことがつながらない
- 目的のない読書ってどうなの？
- 授業に出席するだけで終わってしまう
- 読むことが「独り」だけの活動になっている

大学生  
不読率  
5割

**情報読書（新書）の読み方を教えていこう！**

## 1.2 「あらしめソッド」の定義

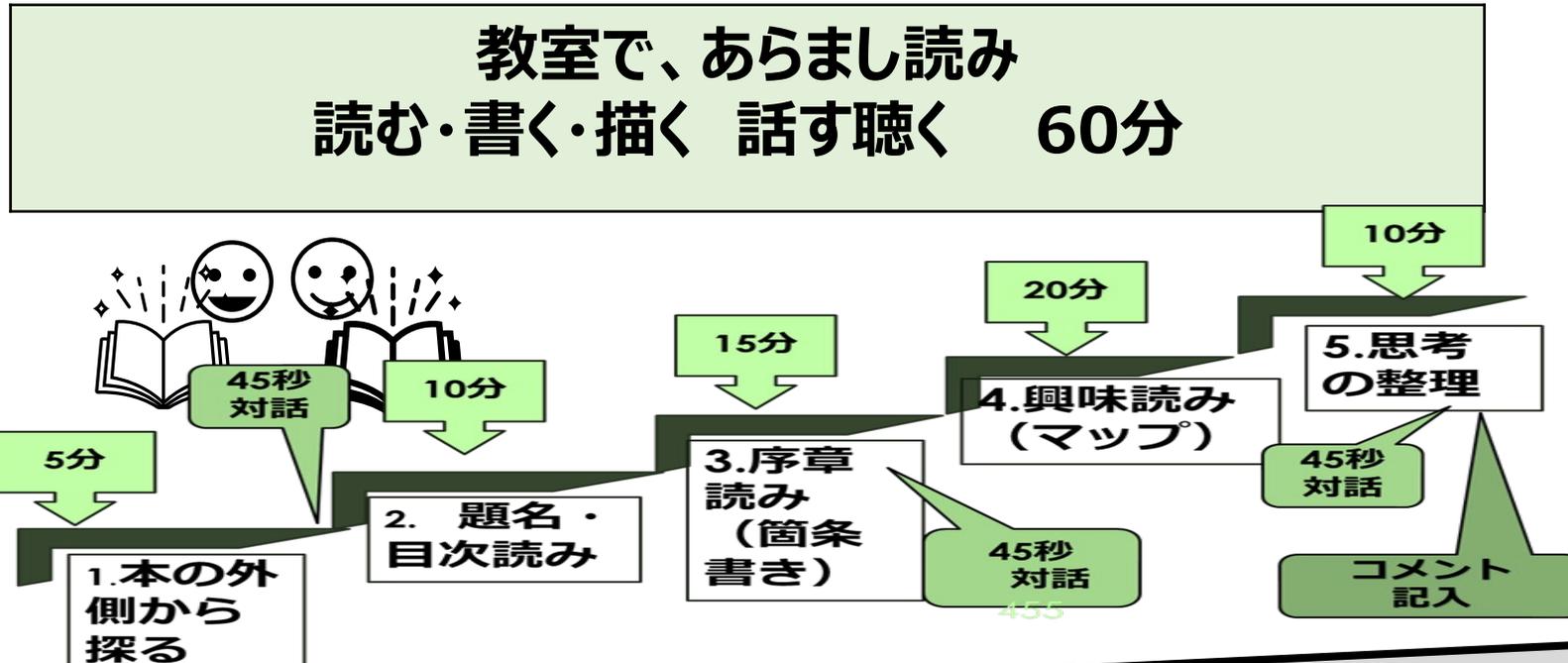
－ 専門書を読めるようになる前の基礎力養成 －

- 1 一人1冊、自分の目的と読みのレベルで本を探し、**選んで**読むこと
- 2 60分間だけ「情報読書」の本を**俯瞰的**に読むこと
- 3 一人で集中して**読み**ながら箇条書きやマップを使って**書く・描く**  
読んでわかったことを、他者と**話し聴く**活動をする

(4つの言語活動)



## 2-1 あらましメソッド「対話型」(2013-2019実践)

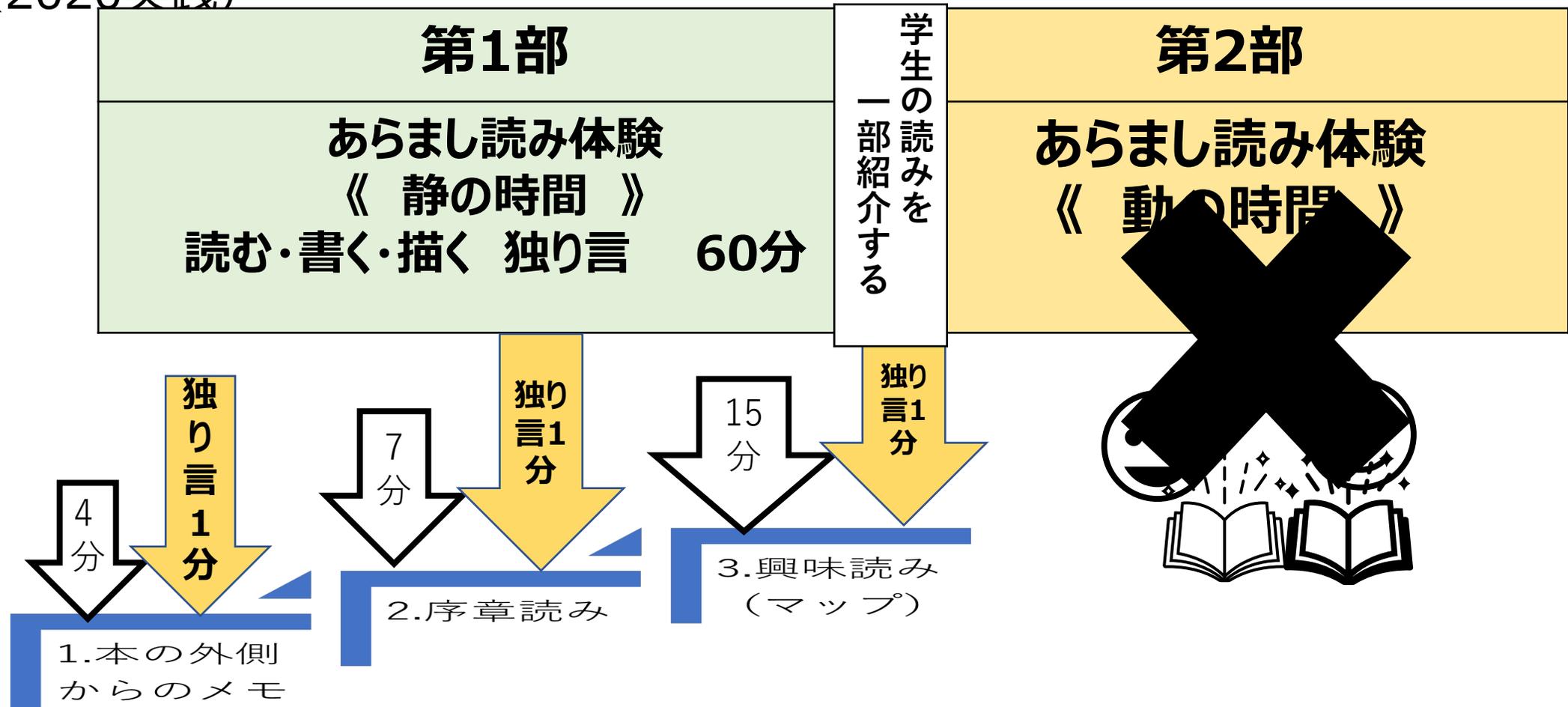


教室の「あらまし読み」には参加し、共有するが、  
授業外のあらまし読み課題や1年生後期への継続ができない  
教室外多読活動へ移れない/自律的読みにならない

【参考】英語多読Graded Readers課題設定の分析  
石黒圭 (2010) 「話題ストラテジー」「取捨選択ストラテジー」の援用

## 2.2 あらましメソッド「オンデマンド型ONLINE」の方法

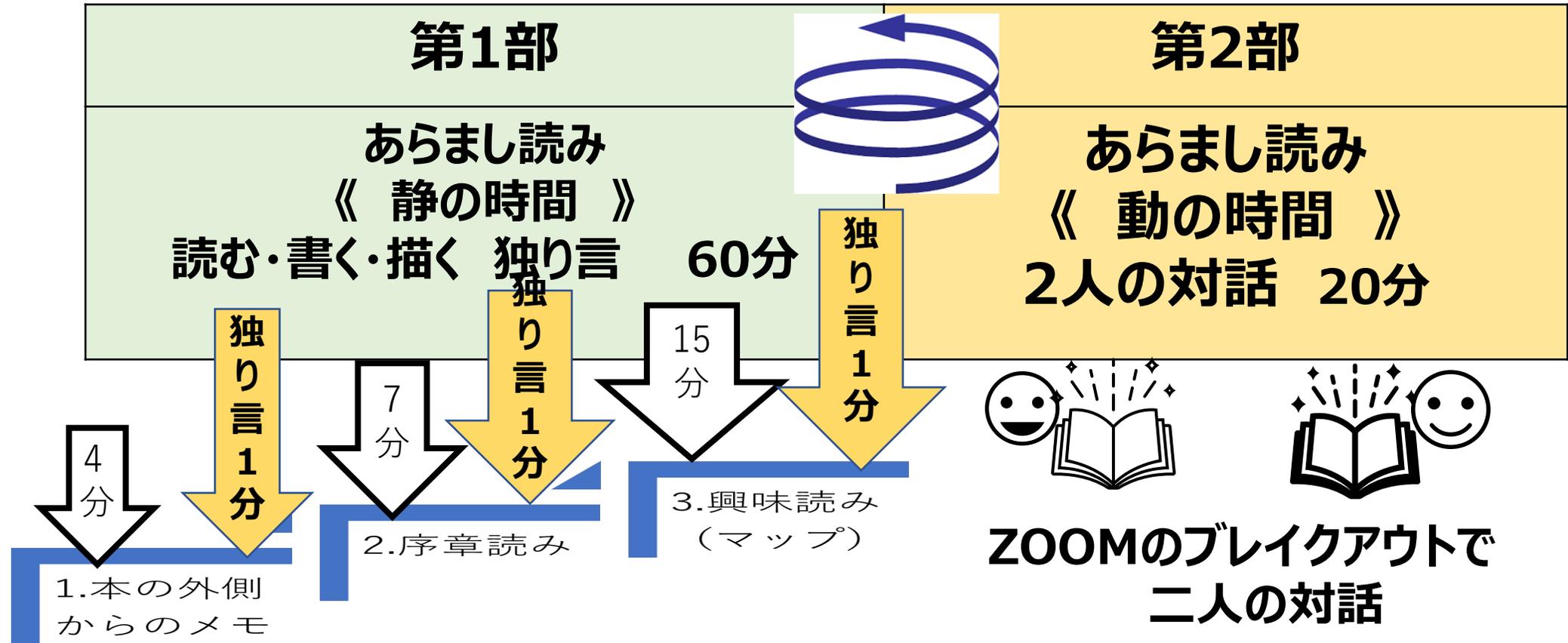
(2020実践)



・あらまし読みの有効性は認める/独りで「あらまし読み」するだけの「孤読化」  
教室外多読活動へ移れない/自律的読みにならない

## 2.3 あらましメソッド「同時双方向型ONLINE」の方法

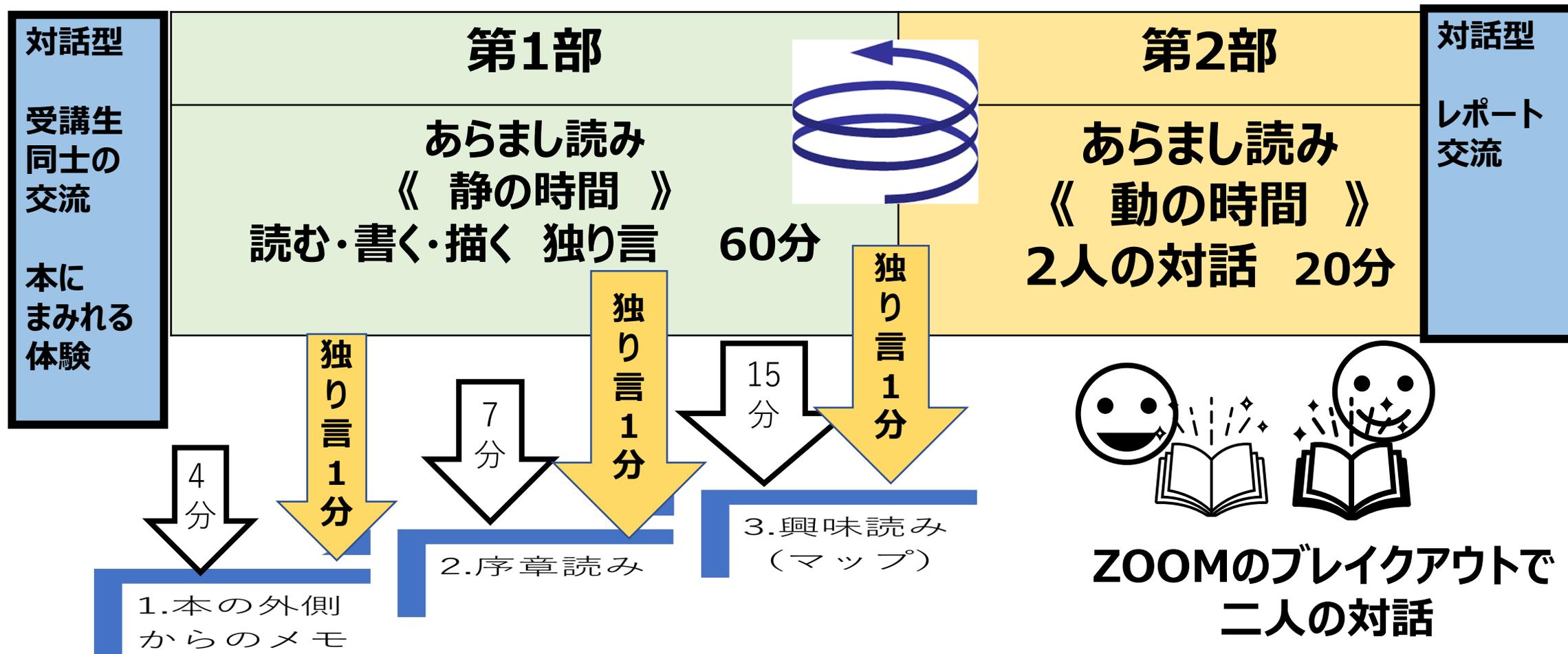
(2020図書館総合展出展ワークショップ実践)



「あらまし読み」の方法や他者との共有が少しできるシステムに入る壁・自信のない学生が飛び込めない

### 3.1 まとめ

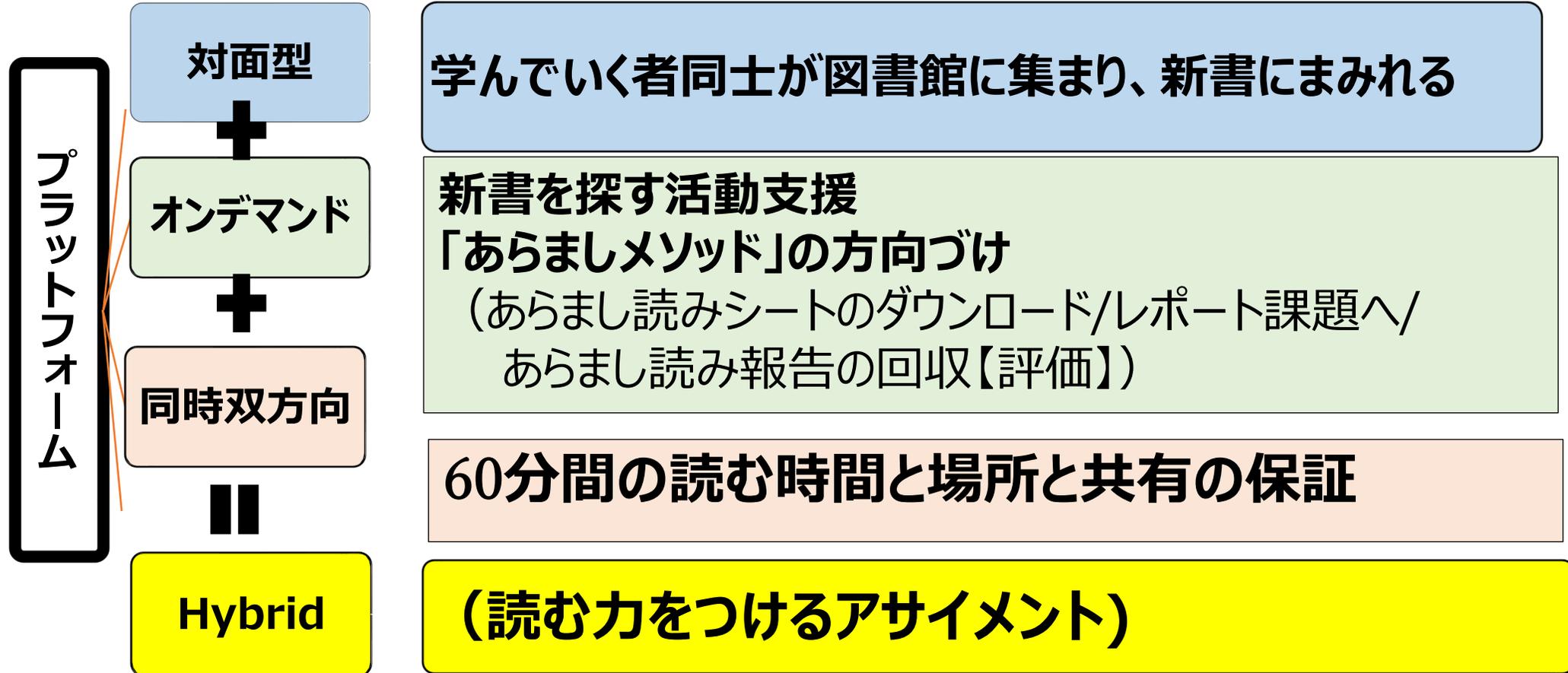
## あらしめメソッドHybridの方法の提案



初めのうちは、学生が「あらしめメソッド同時双方型」に参加したことを、評価することから始めたい

## 3.2 まとめ

# 「あらしめメソッドHybrid」からアサイメントの確立



ご清聴、ありがとうございました